



開発責任者

永留 高明(ながどめ・たかあき)

(株)本田技術研究所 主任研究員

1986年、(株)本田技術研究所入社。
初代NSX、初代US オデッセイ、エリシオン、
初代RDXなどのBODY設計を担当し、2012年11月から5代目CR-VのLPL
(開発責任者)を務める。
趣味はドライブ、野球観戦。愛車はCR-Z、
FIT。

守る。打破する。極める。立ち返る。 その先にこそ、CR-Vのあるべき姿があったと考えました

CR-Vは、いつでも、どこでも、自由で快適に走り回ることができるクルマです。

同時に、SUVカテゴリーにおいて、販売台数世界一*になるなど、支持されているブランドでもあります。

そのようなクルマのフルモデルチェンジは、世界中にいらっしゃるお客様の期待を超えるものでなければなりません。

そこで、開発にあたり、CR-Vが守り続けるべき価値とは何か。打破すべきものとは何か。極めるべき強みとは何か。

立ち返るべき原点とは何かを、徹底して考えることから始めました。そうして浮かび上がってきたCR-Vらしさ、

つまりCR-Vの本質価値を見極め、全方位にわたって進化させていきました。

今回のモデルチェンジでは新世代プラットフォームに刷新し、「SPORT HYBRID i-MMD」を搭載した

ハイブリッド車を新たにラインアップ、同システムとして初めてリアルタイムAWDを採用しました。

一方で、ガソリン車には3列シート仕様を設定し、多人数乗用ニーズに応えています。

また、これらに加えて、注力したところである、安心感と力強さを増したスタイリングや、飛躍的に質感を高めたインテリア、
欧州各地で鍛え上げたダイナミック性能なども、ぜひとも、ご確認いただきたいポイントです。

グローバルカーとして世界中のお客様の多種多様なニーズを満たすべく、

鍛え上げた新型CR-Vは、世界中のお客様の満足を超えて、感動をもたらすクルマに進化したと自負しております。

街乗りも、オフロードも楽しめるこのクロスオーバーSUVが、

日本の皆様の暮らしを、もっと快適に、自由に、広げていくことを願ってやみません。

*2016年販売実績。Honda調べ

